

学長のコラム

「みんなちがってみんないい」

・・というフレーズで有名になった詩「私と小鳥と鈴と」などで有名な金子 みすゞの記念館（山口県長門市仙崎）に行ってきました。みすゞの詩の多くには曲がつけられ、童謡、歌曲として歌われている。歌をうたう妻が是非行きたいというので、牛に連れられ・・・という形であったが、印象深い旅となった。

みすゞは、1903（明治 36 年）仙崎に生まれ、20 歳で下関に移り住むが、23 歳で不遇な結婚、26 歳の若さでこの世を去った。西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」と称賛されたみすゞの詩は、当時の詩集には掲載されていたが、その後、長らく忘れられていたが、50 年後、詩人の矢崎節夫（現館長）らの努力で遺稿集が発掘され、500 余編の詩が出版されるや瞬く間に有名になった。

生家の金子文英堂跡地の館内にはその 26 年の生涯が時々の詩作とともに紹介されているが、最後に彼女が、放蕩な夫からわが娘を取り返し自分の母に託すことを懇願する遺書を残して自死するくだりには、涙を禁じ得なかった。我々が仙崎へ行く途中で、彼女が死ぬ前日に写真を撮ったという三好写真館跡（下関市唐戸の亀山八幡宮の正面階段左横）を訪ねていたので感慨もひとしおであった。結局、短いながらも十分な人生を生きただと妻と納得し合っ、涙を収めることとなった。海の中のイワシの気持ちになったり（「大漁」、障子のサンの仕切りをビルディングの部屋に見立てる感覚（「障子」）など、その感受性には驚くばかりであるが、自然と共に生き、小さないのちを慈しむ思いや優しいまなざしには、医療人になろうとする学生諸君にも是非触れてほしいと思いつつ家路についた。



10・11月の主な行事予定

| | |
|----------|---|
| 10月7日(水) | 認定看護師教育機関 認定更新 現地視察 |
| 16日(金) | 前座祭、交換研修&GSLP 帰国報告会 |
| 17日(土) | 第39回杏祭 |
| 19日(月) | 11月7日実施の入試出願（～30日） |
| 21日(水) | 動物慰霊祭 |
| 23日(金) | 私学事業団 平成26年度補助金実地調査 |
| 24日(土) | 大学行政管理学会 |
| 11月4日(水) | 医学検査学科臨地実習認定式 |
| 4日(水) | 推薦入試業務説明会（教員対象）（～5日） |
| 7日(土) | 社会人入試（リハ学科）→合格発表11月20日 助産別科推薦入試 → 合格発表11月13日 大学院推薦選抜、大学院社会人選抜（I期） → 合格発表11月18日 |
| 8日(日) | 井芹川大清掃 |
| 10日(火) | 推薦入試業務説明会（事務職員対象） |
| 14日(土) | 指定校推薦入試、一般推薦入試 → 合格発表11月20日 |
| 18日(水) | 学校法人銀杏学園理事会（ホテル日航熊本） |
| 24日(火) | 定期健康診断 |
| 25日(水) | 県私大協研修会（ホテル日航熊本） |
| 29日(日) | MUSASHI会（パレア） |

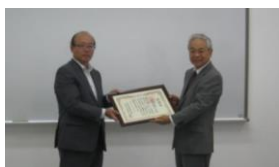
*

JR 表彰式

9月25日(金)、九州旅客鉄道株式会社(JR九州)様より“西里駅クリーン大作戦”の功績を認められ、感謝状と記念品を受領しました。感謝状は事務室の壁面に飾りますので是非ご覧ください。

JR職員の方とのコラボ企画として始めた同活動は12月に5年目を迎えます。これまで学生を中心にたくさんの関係者が参加してきましたが、8月末時点で2,248名(学生・教職員とJR職員の方の延べ人数)もの力を借りて西里駅の美化に貢献して参りました。

今後も熊本大の玄関口「西里駅」を私たちの手で綺麗に維持していけることを願っております。(文責:学務課長)



ヨガ教室

9月29日(火)に衛生委員会主催の第3回健康づくり教室を実施しました。今回は、昨年度実施した教室の中で参加者が一番多かったヨガ教室を行いました。今回は、昨年度のヨガ教室と比べ運動量もアップし、ちょっぴりハードなヨガでした。

次回(11月予定)は、今年度2回目のエアロビ教室を行います。別企画で10月からチーム対抗歩数競争もスタートしていますが、かなり歩数も稼げると思います!是非多くの方のご参加お待ちしております!(文責:衛生委員会事務局)



私の秘話ヒストリー

今回は、医学検査学科の寺本准教授に投稿していただきました。

高校生(昭和46年)の頃、実家の隣に小さなアパートがありました。そこに銀杏短大の学生さんが1年間ほど住まわれていました。話をしたことはほとんどありませんでしたが母とは仲が良かったらしく母を通して間接的に検査技師という職業を知りました。

何となく検査技師の事を知って、銀杏短大が来年から3年制の短大になるという噂を聞きつけて、行ってみようかなと思ったのが銀大との長い付き合いの始まりです。何となく行った銀大でしたが、馬が合ったというか楽しく3年間過ごしました。しかし、3年制での初めての国家試験、問題の傾向が全く変わっていて大学の合格率が50%近かったことを覚えています。私は運良く合格しましたが、5月の発表まで就職先の寮で荷物は解けませんでした。

そんなこんなで、職場を変えながら検査技師を33年間やってきました。何気なく選んだ臨床検査技師という仕事が大好きです。教員となった今、少しでも検査技師の楽しさ、やりがいを伝えることができたらと思っています。(文責:寺本准教授)

城北校区秋まつり「ふれあいの日」

10月4日(日)熊本市の城北小学校PTA主催行事、城北校区秋まつり「ふれあいの日」が開催され、昨年同様、北区役所保健子ども課と共同で行う健康コーナーと赤ちゃん抱っこで参加いたしました。

医学検査学科は血管年齢・骨密度・体成分の検査を行い、近郊住民の方や城北小学校教員・PTAなど65名の方が受けられました。また看護学科は、赤ちゃんモデル人形による抱っこ体験・バイタルサインモデル人形や自分の心臓の音を聴診器で聴く体験を行い、69名の来場がありました。(文責:地域連携委員会事務局)



タバコフリーキッズ in 熊本の開催

くまもと禁煙推進フォーラムと国立がん研究センターとの共同で、第9回日本禁煙学会学術総会関連イベント「タバコフリーキッズ in 熊本」が、熊本市立西里小学校ほかたくさんの団体と熊本保健科学大学のコラボで9月8日~9日に本学で開催され、無事終了しました。

「タバコフリーキッズ」は、国立がん研究センターが開発した、未来の地域社会の重要な担い手であるこどもたちを主役とした「がん予防」の啓発・教育プログラムです。こどもたちも一員である街・地域社会・コミュニティにおいて、こどもたちはテーマに沿った「情報採集」活動を行いながら、がんの原因であるタバコに関して「タバコはいる? いない?」をスローガンに、どうしたら「がんを予防」できるかを自身で考えていく企画です。

今回の熊本での開催は、全国で2番目となりました。NHKとKKTの夕方のニュースで放映されました。

写真左:フードパルでの取材風景、右:二日間のプログラム終了後キッズパワーの集合写真(文責:中村教授・三村准教授)



「絵でわかる失語症の症状と訓練」



本学の教員が、失語症に関する書を出版しましたのでご紹介します。タイトルは「絵でわかる失語症の症状と訓練」です。なお監修は川崎医療福祉大学副学長の種村純先生が担当されています。

(文責:大塚准教授)